

令和3年度 第2回 大垣市図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 と き 令和4年3月4日（金）14時～15時15分
- 2 ところ 大垣市立図書館3階 会議室
- 3 出席者 （委員）
田村弘司会長、石橋豊之副会長、福井真由美委員、
西田拓郎委員、近藤則朗委員、佐久間理恵委員、
伊藤千賀子委員

（事務局）
山本教育長、寺嶋教育委員会事務局長、加代図書館長、
大江図書館主幹、長瀬図書館主幹、早崎図書館主幹
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 次 第
 - (1) 議題
 - ① 令和4年度の事業計画（案）について
 - (2) 報告
 - ① 令和4年度図書館の利用に関するアンケート調査の実施について
 - (3) その他

1 開会 14:00

(事務局)

令和3年度第2回大垣市図書館協議会を開催する。

2 あいさつ

(教育長)

本日はお忙しい中、図書館協議会にご出席いただき、お礼申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、感染防止対策のために図書館の利用制限や講座の一部中止など、市民の方に迷惑をおかけしている。特に現在はオミクロン株の流行により、岐阜県も「まん延防止等重点措置区域」の指定を受けて感染防止に取り組んでいるが、依然として感染者が多い状況が続いている。そうした中で図書館においては、できる限り開館しながら感染防止の取り組みを強化しており、具体的には今年度、図書除菌機や足踏み式消毒スタンド、非接触型温度検知カメラなどの衛生用品を配備し、衛生対策を強化している。これからもできる限り開館をしながら感染防止を強化していく方向で進めていきたいと考えている。

本日は、令和4年度の事業計画と、令和4年度図書館アンケート調査の実施について報告させていただき、様々なご意見をいただきたい

(会長)

コロナ禍になって3年近くが経過したが、中学・高校は3年間、短大は2年しかないのに、この期間に被ってしまった子どもたちがいることが不憫である。オンライン授業をする学校も増えたが、コミュニケーションは8～9割が言葉を用いないノンバーバルコミュニケーション（話し方や表情、ジェスチャーなど）によるものだといわれているが、マスクで相手の表情がわからない状況で、子どもたちへの影響が心配である。職場でもオンライン会議が増えたが、顔をつきあわせて話をしないと伝わらない部分もあるし、読み聞かせでも同じことが言えると思う。小学校でも口の動きがわかるようなマスクを配付するとよいかと思うが、皆さんくれぐれも健康に留意していただきたい。

3 議題(1) 令和4年度の事業計画(案)について



(委員)

大垣市は岐阜県内第2の都市でありながら、図書館の蔵書数においては県内4位となっている。図書館が主催する年間行事も充実しているため、施設や蔵書数だけで比較してはいけないのだが、大垣市立図書館はスイトピアセンター

にあるため、学習館や文化会館で実施している行事を、図書館に取り込んだりするなどの地の利を活かした取り組みができればいいと思う。

また図書館は普段から様々な取り組みをされている中で、常時活動やテーマを掲げて運営されており、最近ではSDGsをテーマに取り上げられ、他の機関とも連携して墨俣小学校にも来ていただいたが、大変効果が高かったと感じる。図書館は文化の源であるため、図書館がテーマを持って情報発信していただくと大きな影響があると思う。

言葉に関する学力が低かったため、試行錯誤を繰り返し、努力してきたが、親子で利用カードを作って図書館へ行こうという取り組みをしたところ、今年の墨俣小学校の1年生の国語の学力は全国平均を上回る結果となった。これは先ほどのブックスタートの紹介で言及された図書館の利用登録の促進による効果として、親子で本を借りて読むことに大きな要因があると思う。学校図書館もあるが、市立図書館でも本を借りて読む習慣をつけていくと良い取り組みになると思う。

余談だが、『大垣市図書館だより』は毎回綺麗に作成されており、掲載写真も良く、読んでみたい気持ちになれるし、うまくまとめられた仕上がりになっていると思う。

（事務局）

スイトピアセンターの関連行事を取り組めないかとの発言に関しては、貴重な意見として承りたい。現在は『大垣市図書館だより』などを文化事業団へ送付したり、文化事業団のチラシを図書館に置いたりするなど、相互の連携協力は実施しているところである。

別施設の関連行事としては『大垣市図書館だより』にも掲載させていただいたが、墨俣一夜城の「黄金の茶室展」に合わせ、墨俣図書館で現在「秀吉の歩み展」として、豊臣秀吉にまつわる合戦図や古写真などの資料を展示をしており、関連する図書の紹介も行っているところである。今後もこのような他施設の行事と歩調を合わせた展示をしていきたいと考えている。

（委員）

お話の会『大きな樹』（※以下「大きな樹」と表記）では、「おひぎでだっこ」のお手伝いをさせてもらっているが、そこへ来られる母親が持参している本を見ると、母親一人だけでは借りられない冊数（10冊以上）の本をバッグの中に入れていた状況などを散見する。こうしたことから、先ほどのブックスタート事業で、説明の中にあつた図書館の利用登録の促進（子どもの利用登録促進）による効果はあると感じているので、その点を補足させていただきたい。

来年度の事業計画の行事を紹介していただいたが、「大きな樹」は、この2

年間コロナ禍で活動ができず、次年度も行事ができなくなる可能性もあるため、図書館職員と協議しながら進めていきたい。

Zoomを活用したオンライン講座の実施について先ほど説明があったが、これを読み聞かせなどに活用できないかという話も出ており、環境が整っているのであれば、借りることができるのかなどをご教示願いたい。

(事務局)

オンライン講座の実施にあたっては、図書館で専用PCとZoomのライセンス(有料プラン)を購入し、図書館で実施するものである。今回3月10日に試行的に開催するオンライン歴史講座は、Zoomの無料プランを使って実施するのだが、こちらは40分の制限時間はあるものの、インターネット回線に接続できるPCさえあれば、余分な経費は発生しない。設定方法などは別途、個別に説明させていただく。

(委員)

「大きな樹」では今年度、助成金を活用して、東京から講師を招き講演会を開催する予定だったのだが、まん延防止等重点措置のため開催ができなくなり、令和4年度に繰り越すことになった。状況が改善せず対面が難しいのであれば、Zoomを活用したりリモートによる講演会を開催する案もあるため、環境が整っているのであれば、こうしたものをお借りできるのかを尋ねた次第である。

(会長)

以前は中継方式で、プロジェクターを用いてスクリーンに映像を投影したり、大型ディスプレイで映したりする方式が主流だったが、最近では各自の机の上でオンライン研修ができるのが普通になってきており、仕事の会議などもそれぞれにモニターを置いてオンラインで実施するところが増えている。

(事務局)

図書館では来年度以降、オンライン講座を本格的に開催する予定であるため、そこで得られるいろいろなノウハウなどを勉強しながら、「大きな樹」さんの相談に応じたり情報共有させていただきたい。

(会長)

オンラインによる講座や会議などは、PCの操作に慣れていない人にとっては音声やID、パスワードの設定などがよくわからないといった戸惑いもあるだろうが、これをうまく取り入れれば、活用の幅は広がると思う。最近の卒業式においては会場に入れるのは保護者一人だけで、もう一人の保護者や他学年

の生徒は会場の様子を教室のモニターで見たりしている。始業式や終業式などでも生徒は体育館に集まらず、校長の講話を各教室のモニターで見るのが普通になってきているため、こうした方式であれば、先ほどのリモートによる講演会の実現も可能であると思われる。

『大垣市図書館だより』は毎回綺麗に作成されていると思うし、他では得られない図書館の各種情報も掲載されているため貴重な情報源なのだが、学校や町内には配布しているのか？

(事務局)

『大垣市図書館だより』は、市内の学校には配布しているが、町内の回覧板には回していない。

(委員)

図書館が様々な事業を実施していることは『大垣市図書館だより』に掲載されている記事でもよくわかるのだが、こうした情報については知る人ぞ知るで、図書館へ通われている方はよくご存知でも、そうでない方々に周知できていないのは残念に思う。

(会長)

『大垣市図書館だより』を全市的に回覧するには相当な予算措置が必要になるのか？

(事務局)

『大垣市図書館だより』は、市内の学校のほか市民サービスセンターや地区センターにも配布しているが、全市的に回覧するには発行部数を大幅に増やす必要があるため、それにとまなう相当な予算措置も必要になる。

(会長)

図書館がこれほど多くの良い取り組みをしているのに、多くの市民に伝わっていないのはもったいないことだと思う。図書館情報の発信手段として、フリーペーパーやインターネット等を活用した広報活動なども有効かと思う。

(委員)

図書館へ来館される方への情報発信はよくされていると思う。一方で図書館へ来館されない方に対しては、先ほどのオンラインやZoomを活用した情報発信が有効なのではないかと思う。たとえば学童保育の場などで、Zoomを活用したオンラインの読み聞かせをするとお知らせしておけば、その時間に人が集まり、

そうした図書館サービスを利用していただけるような活動になる。図書館への来館者に対するサービスにとどまらず、館外サービス（非来館型サービス）もこれからは重要になってくると思われる。

（教育長）

委員の皆さまから良いアイデアをいただいたので、検討させてもらいたい。

（会長）

今年度の臨時休館中（令和3年8月20日～9月30日）も予約サービスの利用は多かったのか。

（事務局）

臨時休館中の予約図書の受付件数は通常時よりも約14,000件ほど多く、職員が予約図書を1冊ずつ取り出し、準備が整った後に利用者に個別連絡するため、かなり大変で苦労した。

（会長）

職員の手を介さず、PCを利用して機械的に処理できる方法などはないのか。

（事務局）

図書を予約される方のうち3分の2ほどはインターネットを利用され、残り3分の1はインターネットを利用されないため、電話や窓口で対応しているが、受付後の作業である予約図書の取出しや利用者への連絡は自動化できないため、職員の手で行わなければならない。

（会長）

インターネットや情報端末を使える人は、今後もっと多くなっていくと思う。今は小学校でもタブレット端末が配付され、子どもがそれを使いこなす時代であり、親世代よりも子どもの方が普通に使いこなせている。

（副会長）

フェイスブックの活用について、具体的にどの年齢層を対象にして発信していくのかという点や、運用方法についておたずねしたい。

（事務局）

フェイスブックは7月に運用を開始したばかりで年齢層までは想定していないが、掲載する内容的については、休館日や開催行事のお知らせ、小話などを

含めて掲載している。ホームページは定型的な利用案内などが主な内容であるが、フェイスブックでは、そこから外れたリアルタイムに情報発信したいことや、ゆるめの内容を主としている。インスタグラムは今後の検討材料であるが、こちらは画像を中心としたものになるため、おもしろい写真を発信していきたいと考えている。

(委員)

読み聞かせはすべて子どもを対象としたもので、大人向けのものがあったとしてもいいのではないかと思う。

(事務局)

多くの公共図書館では、読み聞かせは子どもを対象とした事業であり、現在のところは大人を対象とした読み聞かせは検討していない。

(会長)

岐阜県図書館では大人向けの朗読会なども開催されているようなので、一度検討材料にされてはどうかと思う。

令和4年度の事業計画も盛りだくさんで、これらすべてを実施していくのは大変かと思うが、よろしく願いしたい。

4 報告(1) 令和4年度図書館の利用に関するアンケート調査の実施について

↓

(各委員) 質疑なし

閉会 15:15